



# 月刊 千葉労働動向

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)  
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 043 (222) 7207 番

94.2.14 No. 3943



集会のお礼とあいさつを述べる柴崎支部長

二月九日、一八時より、江東総合区民センターに於いて、新小岩支部主催による東京東部労働者集会が一五〇名の参加のもと開催された。

## 全国にはばばたごう。 新小岩支部の主催で 東京東部集会、大盛況

はじめに、司会の新小岩支部君塚書記長より挨拶を受けたのち、主催者を代表して柴崎支部長より「国鉄闘争をめぐる情勢は、新たな情勢を迎えている。一・二・二四中労委命令は地労委命令を大きく後退させるものであり、これまで原職復帰をかけた闘いぬいてきた清算事業団労働者・家族の辛苦をふみにじる断じて許すことのできない反動命令である。今回の命令は、国労・動労千葉の清算事業団闘争をたたきつぶそうとする権力の意をていしたものである。たとえどんなに情勢が厳しくとも労働者は、原則的な闘いの道を貫く以外に胸を張って生きることは出来ないのではないのか。だからこそ今JRのみではなく、全体に闘う労働運動が求められているのではないのか」と力強く訴えた。



150名の参加で集会は大成功

次に本集会開催にあたり大変お世話になった国鉄闘争支援協・東京東部交流センターよりそれぞれ連帯の挨拶をうけました。その後本日のメインの中野委員長長の講演では「五五年体制が崩壊し、連合が向こう側に行ってしまうていること、そして今、労働者は戦後最悪の労働条件にあること、分割民営化反対闘争以降、情勢は厳しいけれど、あつげらんやとやっていこう」と、世界・日本の情勢やこれからの労働運動のことなどを熱っぽく語っていただきました。

また、次の各労組や仲間などより挨拶をうけました。

- ・東京清掃労組の仲間
- ・東京交通労組の仲間
- ・都職労都税支部
- ・江戸川区職労有志
- ・全通四・二八連絡会
- ・金属機械日本力ニゼン支部



物販の売れ行きも絶好調

一月一五日の北海道を皮切りに始まった地域集会もいよいよ中盤戦をむかえた。北は北海道南は九州まで二〇カ所で成功をおさめた。

小なりとはいえ、動労千葉の闘いに学び、動労千葉のような闘いを職場につくり出そうとする

全産業でかつてない首切りがはじまっている。しかし現実には、小選挙区制や消費税率引き上げ問題でも明白のように、骨の髄まで資本の代弁者となった連合指導部のもとで、多くの労働者がたたかう方針を求めているのである。

情勢が動きはじめた！  
全国主要地域で次々集会を開催

すでに動労千葉の「国鉄労働運動を水路に連合を打倒しよう」というスローガンが、時の声となつている。手応えは確かだ。清算事業団闘争勝利！終盤の闘いの成功へ、組合員一丸となり全国へうって出よう。

### 第31回定期委員会 とき二月六日(水)二時～ とろろ 千葉県物産センター(NTチチ支店うろ)